

JATピックス

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2011年11月



JA札内 ファーマーズマーケット

JA札内ファーマーズマーケット実行委員会（松田光幸実行委員長）は10月22日から11月6日まで恒例の越冬・漬物野菜市を旧あかしや支店で実施しました。漬物用のチロット大根（宮重）やハクサイ、キャベツが好評で、初日から大勢の買物客で賑わいをみせていました。この直売所は、11月末で閉店し、来年は5月上旬から再開の予定で、各生産者は「さらに品揃えを充実させ、消費者にサービスを」と張り切っています。

越冬・漬物野菜市 チロット大根や白菜が人気

今年5月からオープンしている直売所は地域へのPR強化と出品野菜の数量増加により販売額は順調に伸び、10月末で前年比15%増の状況となっています。

越冬・漬物野菜市は初日に300人を超す来客があり、漬物用として人気のあるチロット大根や聖護院、総太大根、白菜、キャベツ、ゴボウなどに人気が集まっています。

また、同時開催の秋野菜地方発送も前年の2倍の売上を記録するなど、地域にすっかり定着しています。

今年の直売所は店内の混雑解消のためバーコード対応レジを3台導入したほか、冷蔵・冷凍庫も設置し漬物や各種加工品、食肉製品の品揃えを拡大しました。

今年の営業は11月27日までで、最後の2週間は「農家在庫売り尽



会場にはNHK「おはよう北海道」の取材陣も

くしセール」として各種野菜の在庫格安販売を実施したほか、長いもや各種ジャガイモ、カボチャ、玉ねぎなどの地方発送を継続しました。

来年度については、出品者の増加により品数拡大を図るほか営業時間や営業日数について検討し、より地域に親しまれる店舗運営を目指していきます。